

鎌倉市議会二回目の議長に 就任させて頂くことになりました

鎌倉市議会
6月定例会が
去る6月8日
開会し、私、前
川あやこは議
長に選出され
ました。議長
職への就任は、
平成27年、初
の女性議長就任に続き、2回目です。



私は昨年4月の市議会議員選挙において、「YesとNoのあいだに」をテーマに掲げました。

「賛成か反対か、右か左か、ご高齢か若い、女性が男性か。今、私たちは結論を急ぐあまり、単純な答えを求め過ぎている。YesとNoの間に多くの答えがあり、多くの思いがある。そして、正解もまたその中にある。冷静になり、再びお互いを見つめ、お互いの言い分を聞くときです。和をもって尊しとする、は私のモットー。極論を避けて、より良い鎌倉をつくりましょう」と表明しました。

議長に就任して、この想いはますます大切だと感じています。

この鎌倉には鎌倉時代から、「一所懸命」「御恩・奉公」「名こそ惜しけれ」という言葉もあります。

新型コロナウイルスのパンデミックやロシアによるウクライナ侵攻など、ありえないことが起こり、これまで当たり前だったことが揺らいでいます。

これからも様々な場面に遭遇する度に、こうした言葉を心に留めながら務めさせていただきたいと考えております。

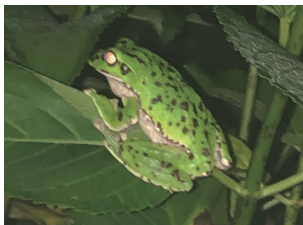
よろしくお願い申し上げます。

前川あやこの活動は
ブログ「いやさか通信」
Facebook、Instagramを
ご覧ください。



ブログ「いやさか通信」から

モリアオガエルが庭に!!



夜10時頃、紫陽花の茎に姿を見つけました。しばらく前から鳴いていたのはモリアオガエルでした。どうか増えてくれますように(6/17)。

二回目の議長就任です



前回の就任から様々な時代の変化はありますが、「和」の心は同じ。日頃から支え合う「夢みらい鎌倉」の池田、日向、中里各議員と議長室で(6/8)。

鋸南町から青木悦子議員



頼朝縁の地から「源頼朝議員連盟」の仲間がいらっしやいました。今回は地元の方々20名と鎌倉散歩に。今年の総会でもたお目にかけます(5/30)。

議会報告・意見聴取会



コロナ禍のため昨年はオンラインのみでしたが、今年は対面式も開催。5/21大船行政センター、5/22市役所で行い、様々なご意見を頂きました(5/22)。

今年こそ三世代交流開催を



台風、コロナで3年間開催できなかった「三世代交流事業in坂の下」の第8回目を今年こそ開催したいと打合せ中。ポスターはH30、第7回のもの(5/7)。

伊豆の国市大河ドラマ館



頼朝議員連盟の会員でもある伊豆の国市。「鎌倉殿の13人」の主人公、北条義時の生まれ故郷です。『義時の里』という部屋もあり楽しめます(4/20)。

前川あやこのホームページからブログ「いやさか通信」をご覧ください。
<http://www.maekawa-ayako.net>

【発行】前川あやこ 【住所】〒248-0003 鎌倉市浄明寺2-10-8
【TEL / FAX】0467-23-0964 【E-mail】info@maekawa-ayako.net
【前川あやこ履歴】1960年鎌倉市二階堂生まれ、聖心の園幼稚園
第二小・中学校、聖園女学院、日本大学。

共育のまち、鎌倉をつくろう



甚句とお囃子のリズムによって、進む御神輿。五所神社の御神輿巡行が、地元のかつぎ手(五所和賀を中心に)によって3年ぶりに実施。新型コロナで中止となっていたこの巡行、やっぱりお祭りはいいですね。久しぶりの感動を味わうことができました。来年はもっと盛大にできますように!!(2022,6,12)。

前川あやこ

無所属 鎌倉市議会議員

2005年から5期連続当選

会派「夢みらい鎌倉」所属

総務常任委員会委員

レポート

No.75

2022,07発行

2022年6月議会からのご報告

- 1 鎌倉市議会 二回目の議長に就任
- 2 総務常任委員会から「釈迦堂遺跡」
- 3 市立小中学校、最近の話題から
- 4 交通不便地域の早期解決を望む



WEBサイト

討議資料

釈迦堂遺跡、崩落対策工事について

—6/20総務常任委員会での検討—

「国指定史跡大町釈迦堂口遺跡」の改修工事は、現在大町側が2023(R5)年3月完成予定で進んでいます。新たに浄明寺側で資材運搬用モノレールの設置ルート変更が必要なため、総務常任委員会で検討されました。

大町と浄明寺地区を結ぶこの隧道は、1977(S52)年の落石から通行止めになり、その後も崩落事故があり、その都度調査・設計が行われ、やっと工事が始まったものです。



●通行可能までに後3年

今後の予定では、モノレールは2023(R5)年3月までに資材を運びきって撤去。浄明寺側工事は同年4月から始まり2025(R7)年度中に完成させる予定です。トンネル上部の岩盤を支えるための芯材の挿入、内部の崩落予防処置、周辺の岩盤強化など大変な工事であると同時に、史跡としての景観に配慮して、落石前の釈迦堂口遺跡の状態が再現されます。

史跡としての価値は勿論ですが、かつて私たちが歩いたこの小径、憩いの道、あるいは子ども達の探検、冒険、遊び場が復旧するのを心待ちにしています。

子どもSOS相談フォーム開始

昨年の9月議会で前川が要望していた「タブレットでいじめ相談」

前号でもご紹介しましたが、6/8の鎌倉市公式LINEに教育長からの発表がありました。子どもが相談内容や相談相手(学校の先生や教育相談員など)を選び送信すると、教育センターが子どもと相談相手をつなぎ、一緒に悩みを考えていくという仕組み。相談内容がまわってなくても、低学年の子どもでも相談しやすくなっています。



児童生徒に貸与された端末のアイコン「子どもSOS」

市立小中学校運営、最近の話題から 意見

●教員数は本当に足りているのか

4月下旬、市内中学校の校長が不足する教員を確保するため、何人もの教員OBに電話をかけている様子を伝えるテレビ番組がありました。驚いたのは私だけでなく、「今あんな状態なの?」との質問を多く頂きました。

市教育委員会に問い合わせると「標準数は確保されている」とのこと。しかし文科省の本年1/31の公表では、全国小中学校教員は2086人不足しているとのこと。TV番組にもあったように、正規教員の代わりに非正規の臨時的任用教員が増えているとのこと。また教員の超多忙化などを考えると、安心できる状況ではないと思います。

●中学の休日部活指導、地域移行へ

スポーツ庁は公立中学校の休日の部活指導を民間スポーツ団体などの地域に委ねる「地域移行」を2023(R5)~2025(R7)年度の「改革集中期間」で進めることを掲げています。市内のある中学校では伝統ある部活動を含め、3年後には4つの部を廃止する、ということも聞きました。

部活動の地域化はこれまでも進められており、市内中学校では40名の市民の方が無償で指導されています。部活動は「学校教育の一環」であると学習指導要領にもあります。地域移行は教員の超多忙解消だけを目的としない考え方が必要です。

●鎌倉市のコミュニティスクール構想

鎌倉市のコミュニティスクール構想は、「社会に開かれた教育課程」実現を目指して、学校や子どもが抱える課題について、地域・学校・家庭が丸となって解決にあたる体制をつくることにあります。

今年度中に第二中学校区、手広中学校区の2ブロックに設置、運用を開始。2025(R7)年度までに市内全中学校区での設置を進めるもの。

教員不足の問題、部活指導の地域移行、そしてコミュニティスクール。これまで以上に地域の人達が学校に係わり、支えていく体制をつくるのが大切です。子どもの教育、育成等をなんでも学校まかせにしないこと、そして学校も抱える問題をオープンにすることがその第一歩です。

交通不便地域の早期解決を望む 意見

高齢化が進み、市周辺の住宅地では住民の足をどのように確保するか大きな問題となっています。市も取り組みを進めており、

- 2021(R3)1月には、二階堂、浄明寺地区の一部でオンデマンドモビリティの実証実験。
 - 2021(R3)9月~12月の間に、利用金額、利用頻度などのアンケートを行った。その結果、一定数の利用者はいるものの、頻度も少なく、安全運行のための運行主体の問題など課題も出てきた。
 - 引き続き、2022(R4)1月には、利用者の有償による実験を予定したが、町内会主体での運行が難しく、実験できなかった。
- このため現在は進捗予定が立っていないのが現状です。

●市全体としての取り組みを

私自身も浄明寺地区に住んでおり、昨年6月議会でも一般質問に取り上げています。同じく交通不便で課題を抱えている今泉台の検討グループからお声がかかり、課題解決の話し合いに参加して皆さんの真剣な悩みを肌を感じています。

10年後には団塊世代が85歳となり、さらに深刻な問題となります。ご高齢者だけでなく、障がいを持つ方、妊婦、塾通いの子ども達にとっても、交通手段の確保は必要です。

交通政策を担当する部署だけでなく、新たな交通システムなど民間のノウハウを活用しつつ、健康福祉部、共生共創部が連携し、鎌倉市の今後のあり方とし、課題解決に向けて進めて行くべきです。

鎌倉市の新型コロナ感染について

累積陽性者数(6/28現在) 11,038人

- 12歳以上の3回目ワクチン接種率(6/19現在) 鎌倉市68.63% 県全体66.58%
- 60歳以上で3回目から5ヵ月経過する方には、順次4回目接種券が送られる。鎌倉市コールセンター ☎0120-238-771
- 新型コロナ専用ダイヤル(神奈川県) ☎0570-056774